

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	大阪府立大学	整理番号	Q03
プログラム名称	システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム		
プログラム責任者	高橋 哲也	プログラム コーディネーター	辰巳砂 昌弘

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

〔総括評価〕

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

〔コメント〕

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、公立大学としての役割を十分認識し、2つの大学が連携して多彩なカリキュラムとサポート体制の構築に取り組んでいる。プログラムや研究に対する学生の積極性、自主性が醸成され、一般の学生よりも思考力において優れている学生が育っており、優秀な博士人材育成に対して効果的なプログラムとして高く評価できる。特に、産業界出身者を中心とするメンターのサポートにより学生自身にキャリアパスやなりたい姿を描かせることで、習得すべき知識、思考プロセスや研究室ローテーションなどを学生自ら選択して主体的、自立的に取り組むようになってきていることは特筆される。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、企業の幹部経験者、実務経験者をメンターに招き、学生に正確な企業イメージを持たせ、研究に関わる企業特有のノウハウを伝授し学生のモチベーション（学習意欲）を向上させたこと、及び産学連携につながるプロジェクトの実施や多くの企業の人事担当者の参加も得た「産業牽引型研究人材育成フォーラム」の開催に対して、企業から本プログラムの学生への高い評価を得たことなどは非常に高く評価できる。また、大阪府、大阪市へのアピールを積極的に行い、JACI（公益社団法人新化学技術推進協会）人材育成部会など、産業界への更なるPRの推進により産学官民一体となったプログラムへの進展が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、学生の海外に向けたカリキュラムが用意され、学生の前向きな取組と相まって順調に進んでおり、十分評価できる。

優秀な学生の獲得については、キャリアサポート室との連携による就職・進学セミナー、博士進学セミナー、履修生による個別相談会、研究室単位の個別相談会等の工夫や努力により、優秀で意欲的な学生を多く獲得していることは評価できる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、教員とメンターの協働による小論文、面接審査、ルーブリック評価での評価基準の具体化など、種々の工夫がなされており十分に評価できる。現地調査で意見交換を行った学生は高い自覚としっかりと自身の考えを持っており頼もしく思われた。本プログラムが謳う学術能力と企業マインドの両方に卓越したグローバル人材の育成を大いに期待したい。

事業の定着・発展については、大学の法人予算及び基金・寄付等により、支援期間終了後における履修生に対する支援が確約されている。この自主的努力により、本プログラムの将来構想の提示と事業継続に向けた活動の具体化が期待される。